

豊中駅前まちづくりワークショップ第5回(2月12日開催)の報告

最終回となるワークショップでは、今まで「わがまち再発見!まち歩きワークショップ」で集まった駅前周辺の住民・商業者、大学生、専門家の方々と、この間、のべ100名以上の人が参加し、まち歩きで撮った写真や感想、意見、提案などを基に、豊中駅前のまちづくりのテーマや目標、それを具体化するための行動・アクションについてまとめる作業が行われました。今後このまとめを整理し『まちづくり

の作法』として、地域の人達やまちを訪れる人達と共有し、楽しいまちづくりを幅広く取り組む活動を進めて行くことを確認し合い、今期の取り組みが終了しました。現在、工事が行われている一番街・刀根山道の補修工事、「通りの改善部会」や「環境部会」の活動だけでなく、新たなまちづくりの取り組みに、この『まちづくりの作法』を活用していきたいと思います。今号では、その内容の骨子を紹介します。

まちづくりのテーマ (こんなまちにしたい)

- A. 住み続け 人が語らう おしゃれ 散歩みち TOYONAKA
 B. “うら”を“オモテ”に 表を裏に 人の気持ちを“のせ街道”
 C. “よってたかって” みんなが楽しく集まれるまち

■ 豊中駅前を能勢街道で表わす

江戸時代に街道筋として栄えた刀根山道やその周辺には、昔の面影を残す旧家や路地、古くからある店舗といったものが残っています。それらを地域の資源の一つとして豊中に訪れる人たちにも感じてもらえる通りにつくりましょう。

■ 豊中駅前のよさをまちの景観として表わす

通りを行き交う人たちが多く、ありがとうございます。まちはにぎやかにしていきます。通りとしての一体感をつくり、人々が歩きたくなる、歩いていて楽しい通りをつくりましょう。



■ 安全・安心感をつくる

駅への行き来など、まちの人たちの生活道路ともなっている刀根山道は、安全に行き来ができることが大切です。まちの人たちに安心して暮らせる通りをつくりましょう。

■ 暮らしの楽しさを表わす

外から訪れる人にとって、そのまちの人々の暮らしが垣間見えると、まちに対して良い印象が残ります。このまちに来て面白い、住んでみたいと思えるような人々の暮らしの楽しさがにじみ出す通りをつくりましょう。

■ きれいな通りとして・はな・みどりを活かすネットワーク

歩いていて花やみどりを見かけると暮らしにうらおいが生まれます。まちかどを演出する小さなみどりからまちのシンボルとなるような大きなみどり、人々が育てるみどりなど様々な花やみどりがネットワークされ、彩られた通りをつくりましょう。



■ おもてに賑わいをつくり、なかに魅力を引き込む

豊中駅前には、通りに面した“おもて”のにぎわいと、一步入った“うら”のにぎわいがあります。それぞれのにぎわいをうまくつなぎながら、お互いの魅力で人々を引き込むような通りをつくりましょう。

■ ひとのつながりを大切にする

今ある個々の取組みや立場の人々などのつながりをつくることで、新たなまちの魅力ができてきます。様々な人々が主体的に関わり、継続した取組みによってつくれる魅力がある通りをつくりましょう。

豊中駅前まちづくり推進協議会

会 員
募 集 中

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費 (一口以上何口でも)
個人会員 一口 300円
商店会員 一口 1,000円問い合わせ先:
まちづくりセンター(協議会事務局)
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190